

オーストラリア北西大陸棚 フィヌケイン・サウス (Finucane South)油田の開発移行決定について

当社(社長:古関 信)が100%出資する豪州法人 JX Nippon Oil & Gas Exploration (Australia) Pty Ltd(以下、「JX NOEX Australia」)は、オーストラリア北西大陸棚海域のWA-191-P鉱区(西オーストラリア・ダンピア沖 150Km)に位置するフィヌケイン・サウス油田の開発移行決定についてプロジェクト参加企業との間で合意しましたので、お知らせいたします。

フィヌケイン・サウス油田の開発においては、隣接するムティニア・エクセター(Mutineer-Exeter)油田の既存の生産設備(FPSO(※))を利用する計画であり、これによって早期の生産開始と、開発コストの削減が可能となります。生産開始は2013年下期の予定であり、初期12ヶ月間の平均生産量は日量約11,000バレルを、当社の開発費投資額は約61百万米ドル(約48億円)を見込んでいます。

さらに、今回の開発移行決定は、生産設備を共用することにより、JX NOEX Australiaが参画するムティニア・エクセター油田の生産コスト低減にも寄与することから、同油田の生産期間も約4年間の延長が可能となる見込みです。昨年4月のWA-290-P鉱区での天然ガス発見とともに当社のオーストラリア北西大陸棚海域における生産・探鉱活動の拡大に大きく貢献するものと期待されます。

※FPSO(Floating Production, Storage and Offloading system): 洋上石油生産貯蔵積出設

以上

JX Nippon Oil & Gas Exploration (Australia) Pty Ltd (※) の概要

- (1) 本社：パース市（オーストラリア）
- (2) Director：古関 信
- (3) 資本金：34,809 千豪ドル（2012 年 1 月 1 日現在、当社 100%出資）
- (4) 設立：1997 年 4 月

※2011 年 10 月、Nippon Oil Exploration (Dampier) Pty Ltd より社名変更

2. フィヌケイン・サウス油田の概要

- (1) 対象鉱区：オーストラリア北西大陸棚
- (2) 鉱区名：WA-191-P
- (3) 鉱区面積：約 650 k m²
- (4) 権益比率：Santos Ltd (41.6%)
Kufpec Australia Pty Ltd (33.4%)
JX Nippon Oil & Gas Exploration (Australia) Pty Ltd (25.0%)
- (5) オペレーター：Santos Ltd(41.6%)

<参考>ムティニア・エクセター油田の概要

- (1) 対象鉱区：オーストラリア北西大陸棚
- (2) 鉱区名：WA-26-L, WA-27-L
- (3) 権益比率：Santos Ltd. (33.4%)
Kufpec Australia Pty Ltd (33.4%)
JX Nippon Oil & Gas Exploration (Australia) Pty Ltd (25.0%)
Woodside Energy Ltd (8.2%)
- (4) オペレーター：Santos Ltd(33.4%)
- (5) 販売数量：約2,800B/D（2011年1-9月）

フィヌケイン・サウス油田位置

